

【セミナー内容】

- ①誤嚥性肺炎の成り立ち
- ②『食べる』為の咀嚼、嚥下
- ③正しい姿勢で食べる嚥下
- ④不良姿勢で食べる問題点
- ⑤『食べられる』ポジショニング
- ⑥基本動作の介助量と嚥下障害
- ⑦スプーンテクニック
- ⑧食事介助のコツ
- ⑨食事場面から判断する嚥下の評価（嚙声、口腔内残渣、停滞、咽せ、流涎）
- ⑩試料の相違と嚥下のチェック
- ⑪服薬と嚥下障害
- ⑫食具の選定と嚥下

※プログラムは追加・変更になる場合がございます。

【講師】内田学 先生（理学療法士）東京医療学院大学 准教授

主な著書：

『姿勢を意識した 神経疾患患者の食べられるポジショニング』

『姿勢から介入する摂食嚥下 脳卒中患者のリハビリテーション（単著）』

『理学療法実践レクチャー 栄養・嚥下理学療法』

『脳卒中理学療法の理論と技術（第2版）』